

健康経営優良法人 2019



事業所紹介



株式会社 佐賀 IDC



株式会社 ロジコム



田島興産 株式会社



笠原建設 株式会社



株式会社
ボンタカーズ中央佐賀



株式会社 トヨタレンタリース佐賀



健康経営優良法人認定制度とは、特に優良な健康経営[®]を実践している企業を顕彰する制度で、2019年度に協会けんぽ佐賀支部加入の事業所から6事業所が認定されましたので、取り組み内容等をご紹介します。

今後の健康経営[®]の実践に向けてご活用ください。

※健康経営はNPO法人健康経営研究所の登録商標です。



全国健康保険協会 佐賀支部

協会けんぽ



株式会社 ホンダカーズ中央佐賀

- 代表者／大橋 友文
- 設立／創業(個人) 1969年2月1日
- 設立(法人) 1976年5月12日
- 合併(3社) 2013年4月1日
- 所在地／佐賀市巨勢町大字牛島204番地7
- 社員数／117名
- 事業内容／自動車販売・点検・車検・保険代理店
- ホームページ／<http://www.hondacars-chuosaga.co.jp>
- インタビュー／彌富 弘之



サポート体制を充実社員の満足が、 お客様の満足につながる

会社の取り組み

優良法人の認定にあたっては、要件の各項目を当社の現状と照らし合わせ、できていない項目を一つずつ取り組んでいきました。具体的には、産業医との連携、二次健診等の受診勧奨、人間ドック・脳ドックの補助制度の新設の他に、健康増進策として野球部等のクラブ活動への活動費補助制度、スポーツ活動(マラソン大会参加費、スポーツクラブ利用費等)への補助制度など、積極的にスポーツに取り組める環境づくりを行いました。

当社は店舗が佐賀県各地にあるので、クラブ活動やイベント等を設けることで社員間の交流の場となり、業務以外のコミュニケーションが図れ、ストレス解消にもつながると考えました。また、女性職員を対象とした「女性特有のガン」についてのセミナーや、健康情報発信など啓発活動も行っています。



取り組みの成果

各店舗の朝礼等で、「健康」という言葉が話題に上がるようになりました。また、残業を減少させようと意識すること、社内全体が健康管理を意識した行動を取るようになりつつあると感じています。

昨今、CS(お客様満足度)とES(従業員満足度)向上と言われますが、当社はまずES向上に取り組んでいます。「従業員の満足なくして、お客様へ満足を与えられない。」この考えのもと取り組んだ結果、企業の利益にも繋がっています。

また、採用面においては、ここ三年間で25名程度の新卒者を採用することができ、更に今年は30名が採用試験を受けています。現在は職場の雰囲気や福利厚生に重点を置いている学生が多いので、健康経営は学生が求めている理想の会社像に合致するところがあると思います。

感想

ホンダカーズ中央佐賀さんを訪ねると、富永ボンドさんのポンドアートが大きく描かれた壁画を発見! 店内には筆で大きく書かれた「Dreams come true」の文字が飾っており、来場者の方たちを楽しませる工夫がいたるところに感じられました。

インタビューは終始ジョークを交えて楽しく進みながらも、「従業員の満足を最優先に」という言葉がたびたび挙がったことから、従業員目線で健康経営に取り組んでいることが伝わってきました。補助制度や健康増進のための活動など、目に見える取り組みを多く実施し、何より担当者の彌富さん自身が楽しんで健康経営を実践されていることが伺えるインタビューとなりました。

田島興産 株式会社

- 代表者／田島 広一
- 設立／昭和36年4月(創業大正11年10月)
- 所在地／佐賀市水ヶ江6-4-11
- 社員数／52名

- 事業内容／LPガス販売、リフォーム、不動産業、上下水道工事、住設機器販売、住宅メンテナンス等
- ホームページ／<http://www.tajimakosan.com>
- インタビュー／田中 美千代



フィロソフィーを基礎として 一人ひとりが自主的に取り組める組織づくり



会社の取り組み

健診受診率100%はもちろんのこと、要治療・要精密の対象者には二次健診後の結果を報告してもらい、保健指導についても、特別な事情がない限り受けてもらっています。

当社は2015年から『田島フィロソフィー』の作成を始め、社員間で会社の理念・考え方を学んできました。そういった取り組みにより素地ができていたので、社員一人ひとりのマインドも高く、お互い声を掛け合える環境ができています。

また、社員だけの委員会活動を設けた中に健康促進委員会を設置し、社員独自で健康にまつわる社内報の作成を行っています。社員自身が積極的に、楽しんで健康経営に取り組んでくれていると感じています。



取り組みの成果

当社には喫煙者がいるのですが、個人の嗜好ということもあり、事業所側からの働き掛けは難しいと感じていました。しかし、ある社員が禁煙を始めたら、その姿を見たほかの社員にも広がっていき、気が付くと3人も減っていました。社員の自発的な行動の中から、お互い協力して取り組んでくれることが一番嬉しく思います。

他にも、佐賀県等が主催した健康フェスタで、当社の講演を聴いた大学からインタビューを受けた縁で、その大学の学生が採用試験を受けてくれたことなど、今まで行ってきた健康への取り組みが、良いサイクルを生んでいるように感じます。

これからも、社員が「働きやすさ」だけではなく、「働きがい」を感じてもらおうための環境づくりを実践していきたいです。

感想

店内に入ると、受付の方がすてきな笑顔で迎えてくださいました。担当の田中さんを待っている間、かわいい雑貨やアクセサリーを発見！どれも手作りで、販売もしているとのことでした。

健康経営の実践については、トップダウンによる一方通行ではなく、社員一人ひとりが健康経営に参画されていることから、健康意識が高く、健康経営も成熟しているように感じました。

「若い社員をきちんと育てるためのベースづくりをおこない、仕事を通じての成長や、その先のやりがい・生きがいにつなげていきたい。」という言葉からも、長期の視点で社員と向き合い、取り組んでいることが伺えました。

株式会社

トヨタレンタリース佐賀

- 代表者／金子 晴信
- 設立／1979年4月5日
- 所在地／佐賀市嘉瀬町大字扇町2312-5
- 社員数／114名

- 事業内容／レンタカー・カーリース
- ホームページ／<http://www.toyota-rentlease-saga.co.jp/>
- インタビュー／松永 裕也



健康経営でリクルート効果

全社員が働きやすい整備づくり



会社の取り組み

就業規則を改定するにあたって、二次健診を対象者全員が受診するよう明文化し、有給休暇については1日単位のみだった取得単位を、時間単位や半日単位で取得できるよう改定を行い、



子育てをする社員等も休みを取得しやすいように整備しました。ストレッチは本社以外は50人未満の店舗なので義務ではないですが、少人数の店舗は

誰かがメンタル不調で休むと仕事が回らなくなるので、全店舗で実施しています。

従業員の健康への意識づけのために、事業所の自動販売機にカロリー表示をし、腹囲が85cm以上の男性社員に対しては万歩計を支給しています。後々は、他の従業員も含めて歩数大会を開催したり、スポーツジムとの提携やクラブ活動など運動面にも力を入れたいと思っています。

取り組みの成果

一番大きな成果は、採用に関してだと思っています。高校の進路指導室に求人票を持って行った際に、優良認定を取得していることを説明すると好印象を持ってもらえます。実際に、今年は応募希望者が去年に比べて1.5倍に増えました。健康経営をやっている企業は、生徒だけでなく先生や保護者に対して良いアピールになると思います。

当社は、朝8時から夜20時まで年中無休で営業しているのでシフト制になっています。産休・育休明けの従業員に対しては子育てを大切にしたいという思いがあり、定時帰宅できるシフトにし、サポート体制を整えていますが、一方で他の従業員が負担にならないようメンタル等の配慮をする必要があります。様々な立場・状況の従業員が不公平感なく働ける環境づくりのために、これからも取り組んでいきたいと思っています。

感想

インタビューでは取り組み内容から苦労話までたくさんお話していただきました。年中無休で営業時間も長いサービス業界が、働きやすい環境をつくっていく難しさについても正直に答えていただきました。

最後に企業が健康であるために大切にしていることをお伺いすると、「従業員同士や家族の協力があつてこそ健康でいられる。そのためにお互いを思いやる気持ちや、意見を言い合える風通しの良さが大切だと思う。」と、丁寧に言葉を選びながら答えてくださいました。基本的なことこそ大切にする姿勢が、健康経営につながると感じるインタビューでした。

株式会社 佐賀IDC

- 代表者／森木 武
- 設立／2003年10月10日
- 所在地／佐賀市駅前中央1丁目6番25号
- 社員数／26名(2019年8月現在)

- 事業内容／データセンター事業
- ホームページ／<https://www.sagaidc.co.jp/>
- インタビュー／大澤 陽子



従業員みんなで健康経営を楽しむために バスデーイベントでコミュニケーション



会社の取り組み

従業員に無理なく健康診断や二次検査などをきちんと受診してもらうため、業務時間中に社用車を利用し受診させる取り組みをはじめ、インフルエンザ予防接種の費用全額負担とその時間の出勤認定を行っています。

ストレスチェックや産業医・保健師さんの面談はもちろん、医療保険にも会社全額負担で加入しており、その



付加サービスで必要に応じて24時間専門家へ相談できる体制なども整えています。

また、『ミーティングは30分以内!』『手を止めてブレイクタイム』などのメッセージを社内ポスター掲示したり、もともと残業は少ないのですが、あえて『ノー残業デー』を設置したりして、業務時間中の生産性を大切にするように取り組んでいます。

さらに、従業員のお誕生日をお祝するバスデーイベントを企画。

会社からバスデーケーキのプレゼントとともに、みなでお祝いします。業務時間中に少し手を止めて、互いに日頃の感謝の気持ちを伝える場やコミュニケーションを図る場として皆さんに参加してもらえよう工夫しています。

取り組みの成果

一番の成果は、バスデーイベント

のおかげで従業員の笑顔が増えたことです。業務時間のほとんどを機械を相手にするような技術職のスタッフが円滑にいかないとかが課題でもあったのですが、イベント等のおかげで仕事の会話も増え、職場全体の雰囲気も柔らかくなったように感じます。

健康経営のきっかけとして、まずはイベント感覚で楽しんで参加してもらうことで、従業員同士のコミュニケーションの輪を広げることができたのではと思います。身近なことから一つずつでも従業員の健康に導くような取り組みを続けていき、その結果、従業員一人ひとりが健康経営についてより深く理解してもらえれば一番嬉しいです。



感想

インタビュ後にオフィス内を見学させてもらったのですが、仕切り壁がほとんど取り払われた空間は明るく広々としており、室内には観葉植物や、コーヒーマシンも常設していて、「ここはカフェ?」と勘違いするようなオシャレなつくりでした。従業員の方たちもリラックスした様子で仕事に取り組まれている、職場の環境づくりの大切さを改めて感じました。室内のレイアウトやインテリアのチョイスなど、主に担当の大澤さんが考えられたとのこと、女性ならではのきめ細やかな心配りが端々に感じられるプロ顔負けの空間づくりをされていました。

「健康経営は、続けることに意味がある。無理のない範囲で前向きに取り組むことが大切。取り組みを続けて従業員が変わっていけば、こちらまで幸せな気持ちになれる」というコメントが印象的でした。

笠原建設 株式会社

● 代表者／笠原 秀子
● 設立／昭和37年12月
● 所在地／唐津市石志4-459-1

● 社員数／83名
● 事業内容／土木一式・建築一式・コンクリート圧送
● ホームページ／<http://www.kashara-g.co.jp>
● インタビュー／竹村 正彦・清水 艶美



従業員の意識を変えるために 企業も「ツツツ」と変化



会社の取り組み

健診・二次健診の受診率100%はマストとして行っていました。保健指導についても確実に受診してもらえ、業務内に行うようにしました。

今年度から完全週休二日制を実施し、ノー残業デーを月1回行っています。建設業ということもあり、現場で働いている従業員の残業を減らすのはなかなか難しいですが、1週間前から周知するなどの工夫をしています。今後は、これまで上限なく行っていた残業を効率的に仕事を進めることで少しでも減らせるように、従業員の意識を変えていくことが課題です。

また、関連グループ会社を含む全従業員が参加できるボーリング大会を企画するなどして、従業員同士の交流の場を設けています。



取り組みの成果

保健指導に関して言えば、はじめは嫌がる従業員もいましたが、一度始めるとみんな素直に受け入れてくれるようになったので、健康に対する意識が変わってきているのではないかと感じています。

従業員が病気やけが等で長期休暇を取ると業務が滞ってしまうので、日頃から業務内容を共有できるようにサブをつけ、フォローできる体制を作りました。その取り組みの成果として、産休で長期休暇した従業員がいましたが、他の従業員のフォローのおかげで、人員を増やすことなく仕事を回すことができました。また、長期休暇を取得した従業員の方も、職場復帰しやすい環境になっています。



感想

会社を移転したばかりというところで、広々とした新築のオフィスの中でインタビューをさせていただきました。

担当の竹村さんと清水さんは、健康宣言当初席が隣同士だったそうで、お二人の息の合ったやり取りが、健康経営がうまくいった秘訣なのではないかと思いました。

完全週休二日制やノー残業デーの実施等は、天候により仕事の進捗が左右され、しかも工期が限られている建設業では特に難しい取り組みだったということ、職種による健康経営の課題の違いを感じました。

これから健康経営を取り組む事業所に対して一言お願いしたところ、「担当者、健康事業について取りまとめや、企画等で大変だと思う。しかし、人があつての会社なので、地道に取り組めば会社も良くなるし、周りも評価してくれる。」というアドバイスが印象的でした。



株式会社 ロジコム

● 代表者／鳥屋 正人
● 設立／昭和33年7月
● 所在地／佐賀市鍋島町大字森田2439-1

● 社員数／301名(アルバイト含む)(2019年8月現在)
● 事業内容／一般貨物運送事業
● ホームページ／<http://www.g-logi.co.jp/>
● インタビュー／山口 真彦



健康第一 安全第一

長く健康に働いてもらうための土台づくり



会社の取り組み

当社の従業員の平均年齢が45歳を超えていることや、大病を患った従業員がいたこともあり、従業員の健康管理のためにまず健診の充実から取り組みました。事業者健診から協会けんぽの生活習慣予防健診に変更し、二次健診や保健指導などのフォローを行い、がん検診や婦人科健診、脳ドックなども全額補助や一部補助などの補助制度を整えました。



取り組みの成果

健康経営に取り組んだことで、従業員の健康についての認識が深くなったと思います。従業員一人ひとりの意識を変えるのは難しいところがありますが、健康に関する情報を発信し、共有

拠点が10力以上あるため、社内ブログや毎月のミーティング等で情報共有に努めています。内容としては、補助制度の周知や、協会けんぽから送られてくるメルマガ、健康情報冊子についてなどです。また、従業員が気軽に相談できるように各拠点には女性従業員を健康担当者として配置しています。



することで、会社がどのような取り組みをしているか認識してもらい、健康について意識しやすい環境を作られていると感じています。

病気で入院して退院後に職場復帰した従業員や、70歳以上の従業員等も他の従業員と同じように活躍しています。

「健康第一。安全第一。」をモットーに、何より従業員を大切にして、長く健康に働いてもらうための土台づくりを今後も続けていきたいと思っています。



感想

インタビューをするにあたって、事前にロジコムさんのウェブサイトをチェックしたのですが、遊び心満載の案内になっていて、インタビュー前からワクワクして訪問しました。

運輸業は勤務形態が非常に不規則であり、その中で健康経営に取り組んでいくのは大変だと思いましたが、担当の山口さんは永年ロジコムに勤めているということで、会社や従業員の皆さんへの愛情たっぷりにお話をしてくださいました。

「何事も一生勉強であり、どんなことから学ぶことができる」という言葉でインタビューの最後を締められたことから、健康経営に真摯に向き合いながら取り組んでいることが感じられました。

がばい健康企業宣言優良企業2019 / 47社

	事業所名		事業所名
1	協業組合 九州ロジテックカーゴ	25	株式会社 真島製作所
2	社会福祉法人 めぐみ厚生センター富士学園	26	株式会社 トヨタレンタリース佐賀
3	社会福祉法人 有田町社会福祉協議会	27	伊万里商工会議所
4	理研運輸 株式会社	28	株式会社 イーエスエス
5	株式会社 佐賀広告センター	29	小城重機建設 株式会社
6	社会福祉法人 唐津市社会福祉協議会	30	株式会社 佐賀 I D C
7	株式会社 JA ライフサポート佐賀	31	有限会社 梶原転写
8	社会福祉法人 若楠	32	佐賀商工会議所
9	医療法人社団 如水会	33	小城商工会議所
10	田島興産 株式会社	34	佐賀共友商事 株式会社
11	株式会社 ミゾタ	35	株式会社 スチームシップ
12	唐津農業協同組合	36	株式会社 嶋本建設
13	株式会社 大神	37	笠原建設 株式会社
14	佐賀信用金庫	38	唐津瓦斯 株式会社
15	一般財団法人 佐賀県産業医学協会	39	昭和自動車 株式会社
16	西日本総合コンサルタント 株式会社	40	株式会社 メリーランド
17	一般社団法人 佐賀県農村地域情報センター	41	株式会社 九州コーユー
18	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会	42	株式会社 井手解体実業
19	社会医療法人 祐愛会	43	株式会社 戸上電機製作所
20	株式会社 三川	44	株式会社 協電カットコア製作所
21	医療法人 信愛整形外科医院	45	株式会社 ワイビーエム
22	株式会社 扶桑エンジニアリング	46	株式会社 ワイシステムサポート
23	株式会社 ホンダカーズ中央佐賀	47	株式会社 ワイビーエムサービス
24	有限会社 谷口運送		

※掲載順は宣言事業所順です。

取組み事例

- ☐ 栄養バランスのとれた宅配弁当の手配
- ☐ インフルエンザの予防接種の費用補助
- ☐ 二次検査結果の報告義務
- ☐ 健診結果に基づいて社長が面談
- ☐ マラソン大会の費用補助
- ☐ 社内運動部の創設、活動費の補助
- ☐ 朝礼の時間に健康情報の読み上げ など



がばい健康企業宣言
優良企業 2019

＜がばい健康企業宣言に関するお問い合わせ先＞

全国健康保険協会 企画総務グループ

TEL 0952-27-0612